

セッション名・座長		演題番号	筆頭演者	演題名	会期	時間帯	会場
一般演題1	倫理コンサルテーション1 永井智恵美	01-1	大河 尚子	A病院倫理コンサルテーションの実施とその効果の検討 ～フィードバック用紙による倫理カンファレンス後の調査結果から～	2024年3月16日(土)	13:50-15:20	第4会場 (順天堂大学第3教育棟 5階)
		01-2	多川 聖子	やってみよう！倫理カンファ ー過去の事例をCECTと振り返る取り組みー			
		01-3	石井 健	当院における臨床倫理活動の現状と今後			
		01-4	板橋 悦子	臨床倫理コンサルテーションチーム設立を目指した 準備チームの取り組み			
		01-5	セビム 朗子	当院の看護倫理カンファレンスは臨床倫理カンファレンスのきっかけになりうる			
		01-6	永井 智恵美	臨床倫理推進体制の見直し -倫理的問題の顕在化に向けた医療安全とのタッグ体制と既存のインシデントレポート報告システムを活用したモヤモヤ報告の構築-			
一般演題2	人生の最終段階における医療・ケア 金沢英哲	02-1	松石 由美子	代理意思決定における家族間の意見の不一致に対する倫理的アプローチ	2024年3月16日(土)	13:50-15:20	第5会場 (順天堂大学第3教育棟 6階)
		02-2	山崎 みつ江	医療ケアチームによる人生の最終段階の決定プロセスにおける支援内容の実態を明らかにするための質問紙の作成			
		02-3	後藤 優子	精神科病院でその人らしい人生の最終段階を迎えるための意思決定支援システムの再構築～終末期の医療の意思決定・DNARを中心に～			
		02-4	梁川 未宇	患者の望む生活を選択していくための支援について ー 軽度精神発達遅滞を有するAYA世代終末期がん患者への介入を通してー			
		02-5	松口 隆太	摂食嚥下障害患者における倫理的ジレンマに対して臨床倫理コンサルテーションを行なった一例			
		02-6	金沢 英哲	嚥下障害の終末期とされる経口摂取に関連した誤嚥または窒息による尊厳死は、安楽死か			
一般演題3	倫理コンサルテーション2 楠瀬まゆみ	03-1	宮部 浩道	危機支援が重要であると考えられた透析中止の申し入れの1例	2024年3月16日(土)	15:30-17:00	第4会場 (順天堂大学第3教育棟 5階)
		03-2	藤田 浩	当院における臨床倫理チーム活動報告（第2報）			
		03-3	中田 裕子	当院職員の臨床倫理コンサルテーションチーム活動に対する認識			
		03-4	室岡 明美	九州大学病院における倫理コンサルテーションの現状と課題～倫理コンサルテーションチーム活動を通して～			
		03-5	宮原 直美	当院における臨床倫理コンサルテーションチームの活動報告			
		03-6	深田 陽子	急性期病院における整形外科手術の妥当性と患者の自律性の尊重との対立に難渋し多職種による臨床倫理コンサルティングチームによる介入を行った一例			
一般演題4	慢性期における医療・ケア 大貫優子	04-1	高橋 科那子	難治性囊胞感染と栄養管理に苦慮した常染色体優性遺伝多発性囊胞腎に対し多職種連携により患者の意向に沿った治療計画を実施した一例	2024年3月16日(土)	15:30-17:00	第5会場 (順天堂大学第3教育棟 6階)
		04-2	田中 日和	適応障害を有した高齢患者の尊厳を支えその人らしさを取り戻す看護 ー 家族との協働的パートナーシップを通して ー			
		04-3	柏崎 由美	A病院における身体拘束の現状 ーせん妄、認知症アセスメントとの照合による課題の抽出ー			
		04-4	荒井 多江子	嚥下障害を有する高次脳機能障害患者の食支援 ～「食べたい」という患者のニーズを叶えるケア～			
		04-5	齋藤 朝子	重度神経性やせ症患者の救命治療と看取りの境目で看護師が抱いた倫理的葛藤 ー転帰が異なった2症例の振り返りからー			
		04-6	大貫 優子	がん遺伝子パネル検査受検患者の認識分析			
一般演題5	倫理コンサルテーション3 古結敦士	05-1	日笠 朋子	精神科病院における臨床倫理コンサルテーション	2024年3月17日(日)	9:00-10:30	第4会場 (順天堂大学第3教育棟 5階)
		05-2	浜谷 千枝子	臨床倫理コンサルテーションチーム5年目までの活動と課題			
		05-3	是澤 広美	A病院における臨床倫理コンサルテーションチームの現状と課題			
		05-4	光本 保英	透析治療を拒否する発達障害患者の臨床倫理コンサルテーション			
		05-5	村田 智春	倫理コンサルテーションチーム立ち上げに向けて ～看護部倫理委員会による倫理活動の活性化～			
		05-6	古結 敦士	効果的な臨床倫理コンサルテーションに向けたProactive ethics consultationの提案			
一般演題6	臨床倫理教育 尾見秀子	06-1	藤本 学	医療者の破壊的行動の因果に関する防壁モデル	2024年3月17日(日)	9:00-10:30	第5会場 (順天堂大学第3教育棟 6階)
		06-2	佐藤 清美	地域医療支援病院における主任看護師への倫理教育の取り組み			
		06-3	高野 智早	倫理コーディネーター養成研修制度の導入と今後の課題			
		06-4	西脇 可織	A病院における看護師の倫理的問題に対する認識と対処行動			
		06-5	河合 皓太	院内の臨床倫理のレベルを高めるために ～当院での4年間の活動報告～			
		06-6	瀧川 千鶴子	臨床倫理月例会を通してDNARについて向かい合う			

セッション名・座長		演題番号	筆頭演者	演題名	会期	時間帯	会場
一般演題7	倫理コンサルテーション4 恋水諄源	07-1	永山 淳	緩和ケアチームを母体とした院内臨床倫理コンサルテーションチームのスタートアップ：緩和ケアと臨床倫理の手法の類似性	2024年3月17日(日)	10:40-12:10	第4会場 (順天堂大学第3教育棟 5階)
		07-2	丸藤 哲	地域中核急性期病院での臨床倫理コンサルテーションの立ち上げと課題			
		07-3	浦家 弥生	言葉の壁がある患者が維持透析を拒否した事例			
		07-4	横山 友美	当院倫理コンサルテーションチームの活動と課題			
		07-5	佐々木 仁美	当院の倫理コンサルテーションチームの活動報告ー結成から2年を振り返るー			
		07-6	恋水 諄源	2023年りんこん研究会活動報告ーりんこん研、世界へー			
一般演題8	小児・周産期における医療・ケア 急性期における医療・ケア 加藤美穂子	08-1	味村 俊樹	重症先天性心疾患胎児において出生後の治療に両親の同意が得られないことに関して検討・対応した1事例	2024年3月17日(日)	10:40-12:10	第5会場 (順天堂大学第3教育棟 6階)
		08-2	大橋 生実	小児医療現場における9歳の壁についての文献検討-子どもの医療参加と医学研究参加の実際から-			
		08-3	宮本 知佳	看護師の感受性を高め、倫理能力を養う取り組み			
		08-4	大西 輝幸	救急・集中治療領域における医療スタッフの多職種連携協働と倫理的苦悩との関連			
		08-5	渡邊 両治	外来で激高していた患者夫婦との信頼関係を築ききっかけとなった言葉たち			
		08-6	運崎 愛	診療におけるインフォームド・アセント文書の現況調査			
一般演題9	倫理コンサルテーション5 杉谷篤	09-1	中山 照雄	当院における医療従事者のモラル・ディストレスの現状	2024年3月17日(日)	14:10-15:40	第4会場 (順天堂大学第3教育棟 5階)
		09-2	荒木 絢子	急性期病院における直近3年間の倫理コンサルテーションの変遷			
		09-3	川邊 有希	当医療センターにおける臨床倫理コンサルテーションチーム活動の現状と課題			
		09-4	蓮見 歩	臨床倫理コンサルテーションチームの結成と活動に関する報告			
		09-5	深谷 基裕	臨床倫理コンサルテーションで初動する看護職の用いているケースコンサルテーション・スキル			
		09-6	杉谷 篤	高齢透析患者の退院に際し、事前指示書作成まで到達できた多職種倫理コンサルテーションの経験			
一般演題10	アドバンス・ケア・プランニング 小川朝生	010-1	山口 大輔	小児専門病院における組織的アドバンス・ケア・プランニングの取り組み	2024年3月17日(日)	14:10-15:40	第5会場 (順天堂大学第3教育棟 6階)
		010-2	村田 さとみ	透析クリニックにおけるACP普及活動			
		010-3	加藤 互	認知症患者のACP			
		010-4	深田 知洋江	グリーフケアから学ぶ 地域包括ケアの実践 臨床倫理四分割を活用した～ACP（アドバンスケア・プランニング）～			
		010-5	今泉 浩徳	当院でのPOLST指針作成及び運用報告			
		010-6	小川 朝生	事前指示とACPに関する国際比較: 事前指示の進歩を踏まえたわが国における論点整理の必要性			
一般演題11	在宅・介護施設における医療・ケア 武ユカリ	011-1	岡林 由起	プロセスを大切に当院臨床倫理カンファレンスの1例	2024年3月17日(日)	15:50-17:20	第4会場 (順天堂大学第3教育棟 5階)
		011-2	金原 牧恵	「通所リハビリ利用継続の希望が高い筋萎縮性側索硬化症（以下ALS）患者に対し、安全な関わり方を検討し、合意形成を行った事例」			
		011-3	伊藤 千晴	訪問看護における医療介護ロボット導入に対する看護師の認識			
		011-4	淵上 操	在宅看取りを支えた訪問看護とケアマネジメント多職種との連携 ～最期の時まで”凛”として我が意を通された“90年の生涯”～			
		011-5	阿部 和也	いわゆる「老健」の臨床倫理			
		011-6	武 ユカリ	在宅医療福祉職が体験する臨床倫理的問題と倫理コンサルテーションのニーズ			
一般演題12	臨床倫理の諸問題 荻野美恵子	012-1	田中 武士	意思決定と社会保障制度に関するー考察-介護殺人の検討から-	2024年3月17日(日)	15:50-17:20	第5会場 (順天堂大学第3教育棟 6階)
		012-2	杉谷 篤	高校生の課題研究でみる「脳死と臓器提供・移植」			
		012-3	中神 克之	「医療従事者の倫理的行動」の概念分析			
		012-4	鈴木 みづほ	電子カルテのアクセス制限は必要か～診療情報管理士の語りより～			
		012-5	三浦 由佳里	署名のない同意書をめぐる倫理的問題に関する組織的対応			
		012-6	刑部 恵	新型コロナウイルス5類移行後のリハビリテーション実施から感じた事～リハビリテーションスタッフのアンケートを通して～			
		012-7	横須賀 響子	両側乳がんの手術同意について倫理的検討を行った統合失調症患者の1事例			